



国道20号（甲州街道）のケヤキ並木

国道20号（甲州街道）のケヤキ並木の成り立ち

国道20号（甲州街道）は、江戸時代に整備された五街道※の一つで江戸と信濃国を結ぶ道として古くから栄えました。

昭和30年代の後半に東京オリンピック開催に向けて、道路の拡幅などの整備が行われ、今では立派な並木となったケヤキはこの時に沿道に植樹されたものです。

当時畑が多く見られた沿道の風景は、今はすっかり変わり、ケヤキも約60年の間に大きく成長し、緑豊かな並木道を形成しています。

国道20号（甲州街道）のように大きなケヤキ並木が数キロに渡って続く道路は日本でも珍しく、地域のシンボルとなっています。

※五街道：江戸時代に整備された江戸と日本各地を結ぶ5つの主要な道路で、地方の大名が江戸へ向かう参勤交代にも利用されました。
甲州街道の他に、東海道、中山道、奥州街道、日光街道の4つの街道をあわせて、五街道とされました。



国土交通省関東地方整備局東京国道事務所

ケヤキについて

ケヤキ(欒)は、日本を代表する樹木のひとつで、文学や歌などにも登場します。山などに自生しているほか、庭木や公園樹、街路樹などとしてよく植えられています。扇を逆さにしたような樹形が特徴で、成長すると高さ20~25mに達しますが、中には高さ50mに達するものもあります。落葉樹で、秋になると葉は緑から、木によって黄、橙、赤に色づいていきます。



春

3月頃から芽吹き始め、4月~5月には小さな花を付けます。鮮やかな新緑は春の訪れを告げます。



夏

夏には枝葉が豊かに繁り、立派な“緑のトンネル”となって強い日差しを遮り、通りを歩く人々に涼しげな緑陰を作ります。



秋

秋が深まると、色づいた葉は通りに舞い落ち、秋から冬へと移り変わる季節を感じさせてくれます。

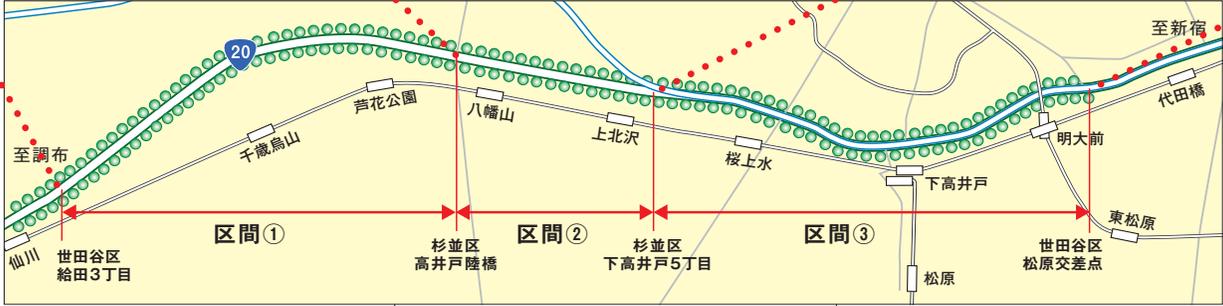


冬

ケヤキはすっかり葉を落とし、通りには暖かい陽光が差し込みます。ケヤキは新しい春に向けて準備を始めます。



ケヤキ並木の現況

区間① 給田3丁目~高井戸陸橋 【約2.5km】	区間② 高井戸陸橋~下高井戸5丁目 【約1.1km】	区間③ 下高井戸5丁目~松原交差点 【約2.6km】
大きく雄大に育ったケヤキが約2.5kmにわたり、連続した緑のトンネルをつくっています。	街並み、車道や歩道にとけこんだ、ケヤキ並木をつくっています。	首都高速道路の高架と高層ビルの隙間を埋め尽くすような姿で今も生長を続けています。
 ケヤキ本数:270本	 ケヤキ本数:109本	 ケヤキ本数:318本
		

※ケヤキ本数は、令和5年3月現在

ケヤキ並木の果たす役割

● 街の景観を美しく、親しみやすく

- ・ ケヤキ並木は、街並みを彩り、その景観は地域のシンボルとなっています。



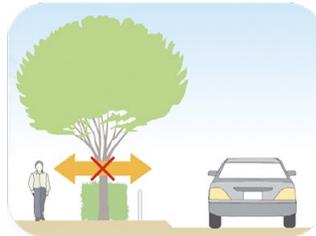
● 様々な生き物の休息の場に

- ・ 鳥や昆虫にとって、ケヤキ並木は都会の中の数少ない休息場所になります。



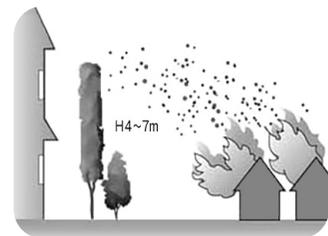
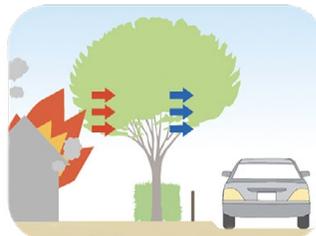
● 道路の安全性を高めます

- ・ 歩道と車道を分離して歩行者の安全を確保しています。



● 災害の拡大を防ぎます

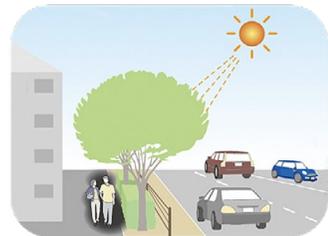
- ・ 火事が起きた時には、ケヤキ並木があることで車道への影響を小さくしてくれます。



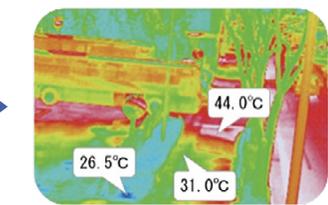
出典：鹿児島県庁ホームページ 取り組み例
(樹木による防火機能を利用する)より引用

● 暮らしの環境を守ります

- ・ 空気をきれいにしてくれます。
- ・ 二酸化炭素を吸収し、酸素を放出します。
- ・ 強い日差しを柔らげます。



緑陰による路面温度の低減効果の一例



平成20年9月10日11時 世田谷区上北沢歩道橋付近

ケヤキ並木を美しく安全に維持していくための課題と取り組み

課題と取り組み

● 枝の剪定(せんてい)をしています

枝や葉で標識や照明灯が隠れてしまうため、枝葉の剪定を行っています。



枝や葉で標識が見えづらい

● 歩道や車道を清掃しています

国道20号をきれいに保つため、また、排水枡を詰まらせないため、歩道や車道の清掃を行っています。



排水枡の上に落ち葉が堆積している

● ケヤキの健康診断をしています

台風等による倒木を防ぐため、ケヤキの健康診断を行っています。



樹木医による調査

● パトロールを実施しています。

道路利用者が安全に通行できるように、車道と歩道のパトロールを行っています。



歩道パトロール

ケヤキの成長による新たな課題



根が歩道を押し凸凹になり、安全な交通の妨げになっています



根が民地の排水管にまで入り込み、詰まらせてしまうことがあります



幹が車道にせり出し、車両が接触することで、事故に繋がりがやすくなります



病気が進んだ樹木が増え、台風などで樹木が倒れたり折れたりする可能性も高くなります

地元の声

- ・ケヤキ並木は、地元のシンボル。
- ・落ち葉が家の敷地まで落ちてきて清掃が大変。
- ・ケヤキの根が歩道を押し上げデコボコになっている。

※ 令和5年●月 町会長インタビューにおける主な意見
※ 現状の文章は一例です

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 管理第二課

〒102-8340 東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎
TEL03-3512-9097 FAX03-3512-9154